

平成 29 年度 事業報告書

I. 放送関係の各種事業の企画と実施、学会・講座・コンクール等への協力

- (1) 全国放送教育研究会連盟・NHK主催の第 64 回NHK杯全国高校放送コンテストの講師・審査員として協力、協会賞贈呈(理事長さらだたまこが出席)。
- (2) ラジオ日本「第 6 回杉崎智介脚本賞」に協力。応募作 115 作品から大賞 1 作、佳作 2 作を選出。大賞「似た者夫婦 偽物夫婦」(作:荻利行)は 3 月 25 日に放送。

II. ホームページ・メールマガジン等による広報

- (1) ホームページの維持、管理
- (2) 協会員向けメールマガジン「Hosakkyo Club」発行(登録協会員は平成 30 年 3 月 31 日時点で 395 人)

III. 創作活動の振興等に必要な企画・調査

例年通り日本放送作家協会とNHKの共済事業として、NHKエンタープライズおよび放送文化基金の後援を得て「創作テレビドラマ大賞」、放送文化基金の後援を得て「創作ラジオドラマ大賞」を実施。並行して、応募者のための公開講座をNHKの後援を得て 2 回開催。

(1) 第 42 回創作テレビドラマ大賞

応募総数 841 篇から大賞 1 篇、佳作 1 篇、奨励賞 2 篇を決定。

大賞	・「週休 4 日をお願いします」	石原 理恵子
佳作	・「やらずの雨があがる時」	潮 喜久知
奨励賞	・「みんな、明日があるって」	桜崎 秋生
奨励賞	・「ノッキン・オン・ヘブンズ・ドア」	本山 久美子

(2) 第 46 回創作ラジオドラマ大賞

応募総数 256 篇から大賞 1 篇、佳作 2 篇を決定。

大賞	・「灰色のキャンバス」	出川 真弘
佳作	・「母ちゃんと王様」	門前 日和
佳作	・「ボブガール、チャリボーイ」	棚橋 ますみ

(3) 創作ラジオ・テレビ各ドラマ大賞に先立ち 2 回の公開講座を開催。

・平成 29 年 5 月 20 日(土)テレビドラマ大賞公開講座

(@渋谷道玄坂フォーラムエイト)

約 300 名受講

講師:古沢良太 西田征史 金子ありさ 佐々木由美
井出真理(以上 脚本家)
中町綾子(日本大学芸術学部教授)
木村隆文 石橋嘉(以上 NHKドラマ部演出家)
・平成 29 年 11 月 11 日(土)ラジオドラマ大賞公開講座
(@渋谷道玄坂フォーラムエイト)

約 80 名受講

講師:さわだみきお 藤井香織 藤沢秋 井出真理(以上 脚本家)
吉田努(NHKオーディオドラマ部)

※上記(1)の大賞「週休 4 日でございます」は、前年と同じく雑誌月刊「ドラマ」平成 29 年 12 月号誌上に掲載された。平成 30 年度中にNHKで制作・放送される予定。また上記(2)の大賞「灰色のキャンバス」は、前年と同じく雑誌月刊「ドラマ」平成 30 年 5 月号誌上に掲載され、平成 30 年 6 月 2 日に NHK-FM で制作・放送された。佳作「母ちゃんと王様」は 6 月 9 日に、同じく佳作「ボブガール、チャリボーイ」は 6 月 16 日にNHK-FMで制作・放送された。

※平成 28 年度事業の第 41 回創作テレビドラマ大賞の大賞作「デッドフレイ」(作:佐々木由美)は平成 30 年 3 月 24 日にNHK総合で放送された。(放送時タイトルは「デッドフレイ～青い殺意～」)。第 45 回ラジオドラマ大賞の大賞作「暗闇の訪問者」(作:藤沢秋)は平成 29 年 5 月 20 日にNHK-FMで放送された。佳作「春を待つ音」(作:葉月けめこ)は平成 29 年 7 月 8 日に NHK-FM で放送された。

IV. 放送文化の向上に寄与した団体および個人の表彰

[功労者顕彰]石倉 俊文 大森 庸雄 翁 妙子 笠原 正弘 栗田 進二
栗田 悌志 黒土 三男 下山 啓 杉原 秀一 曾田 博久
高木 凜 高屋敷 英夫 中条 原始 中原 朗 平松 邦宏
水出 弘一 水島 総 吉川 惣司 斉藤 博明

V. その他の定款に定める事業以外の活動

1. 放送作家協会特別セミナー

協会事務局の会議スペースを利用して開催する「特別セミナー」。

平成 29 年度の実績

5 月 13 日(土)～ 藤森いずみ土曜脚本塾(全 10 回)

11 月 18 日(土)～ 藤森いずみ土曜脚本塾(全 10 回)

2. ネット寺子屋

日本放送作家協会会員が行う通信添削。原則インターネット経由のみでやり取り

する。平成30年4月1日時点の講師は高谷信之、清水喜美子、藤井青銅、渡辺麻実(敬称略)の4名。

平成29年度実績 指導24回 収入199,300円(税別)

3. 東京作家大学

日本放送作家協会関西支部が故・藤本義一支部長時代より約30年にわたり運営してきた「作家養成スクール 心齋橋大学」のメソッドを東京に導入した「市川森一・藤本義一記念 東京作家大学」の設立・運営に協力。

運営は「心齋橋大学」同様、株式会社大阪教育研究所が行い、協会はカリキュラム作成と講師紹介等を担う(講師は大阪教育研究所と直接契約)。

平成30年6月現在、1年生約80名、2年生約70名、3年生約70名、オープンカレッジ受講生約40名が学んでいる。

VI. 支部

1. 関西支部 支部長:梅林 貴久生 事務局長:林 禰男 監事:藤川ヤヨイ 落合武司

①放送作家協会関西支部の会員が講師を務める心齋橋大学の第31期生のカリキュラムが無事修了した。生徒による80編の作品が修了制作として発表された。平成30年4月28日に修了式、並びに優秀作品の表彰式を実施する。

②「第3回藤本義一文学賞」の作品募集を行い、616編の応募作品があった。第1回より、放送作家協会関西支部が協賛して、審査など3回目の協力となる。「藤本義一文学賞」の優秀作品の第3回表彰式を平成29年10月30日に行った。第2回藤本義一文学賞優秀賞の高橋良育氏を放送作家協会会員に推薦し、入会となった。

③関西支部と心齋橋大学とのコラボによってラジオドラマの脚本募集を行い、優秀作品をラジオで放送する企画を立ち上げた。平成30年に実現することに向かい、心齋橋大学と準備検討を進めている。そこで放送された作品の作者は、放送作家協会に推薦し、新たな会員となる。関西支部の新しい人材を育成することを目的としている。

④今年度初めて、心齋橋大学に自分史のコースを設けた。今年は二人が無事執筆をすすめ、放送作家協会関西支部の会員が協力し、出版することができた。

(文責・梅林貴久生)

2. 中部支部 支部長:柳瀬元志 事務局:いとう菜のは 加藤紀子

1)『第21回 中部テレビ大賞U-30』の実施

中部地方の民放・NHKから、30歳以下のディレクターによる20作品がエントリー。平成29年7月15、16日に中部支部メンバーによる審査会を実施し、下記の作品を選んだ。表彰式は、9月15日に行った。

中部テレビ大賞U-30大賞 NHK岐阜放送局

NEXT 未来のために『縫えないほころび

外国人技能実習生と繊維の町』

日本放送作家協会特別賞 NHK福井放送局

ドキュメント72時間『福井 真夏の無人氷屋』

優秀賞 北日本放送

KNBふるさとスペシャル『人気名物プレゼンバラエティー

とやま深掘りっ！第一弾ブリ編』

優秀賞 中京テレビ放送

NNNドキュメント'16『手のひらの凶器～ながらスマホ

その代償～』

奨励賞 石川テレビ放送 アングル2017『検証・棄権のススメ』

テレビ静岡『子育て一等賞のくに

～フィンランドのママが幸せな理由～』

テレビ静岡『死刑囚と姉 一袴田事件 50年』

三重テレビ放送『明日への手紙～2016年

ジュニア・サミット in 三重』

平成29年度より中部テレビ大賞は、これまでの特別番組部門とU-30部門の2部門から、より若手制作者の励みとなるようU-30部門に一本化した。

応募数の低下が予想されたが、最終的には20作品のエントリーがあった。

どの作品も若手ならではの、ヤル気と熱意に満ちた作品であり、選考も難航した。

受賞者からは、「これからの制作の励みとなるとともに、受賞者にふさわしい番組作りを心掛けたい」との言葉があり、中部支部にとって、最高の形で『中部テレビ大賞』を催すことが出来た。

表彰式後は、受賞者・中部支部メンバーの懇親会を開催。

制作の裏話や今後の番組作りの夢など、系列やキャリアを越えて和気あいあいとした雰囲気の中で交流が行われた。

2)『キャリア アップ講習会』

中部テレビ大賞U-30大賞を受賞した、NHK岐阜放送局(当時)の川恵実を招いて、番組制作におけるアプローチやノウハウなど、若手制作者ならではの視点でリアルな声を会員全体で共有した。

(文責:支部長 柳瀬元志)

3.九州支部 支部長 盛多直隆 事務局長 永田昭治 監事 香月隆

1)西日本文化サークルでの入門クラスと上級クラスの放送シナリオ講座の継続。講師陣は支部会員若干名。

2)シナリオコンクール「南のシナリオ大賞」の運営、並びに大賞作品のウェブ・ドラマ化し、インターネット配信(1年間公開)。コンクールは今回で11回を数え、応募総数

は、195編でした。

3)支部会員が脚本を書いた舞台は本年の3月に公演の運びとなりました。作家として会員2人が参加しています。

4)全国高等学校放送部の活動支援。全国高等学校制作ラジオドラマの制作指導。

5)支部のホームページは、常に更新しています。会員のイベント情報も掲載され活発に運営されています。

6)支部運営のミーティングは3月に一回程度。このミーティングで、円滑な支部運営が効率的に行われています。

7)九州支部の会員のコミュニケーションを図るために年2回の親睦会を開催しました。

(文責・盛多直隆)

4.北海道支部 支部長:伊藤正浩 事務局長:藤原晴美 監事:吉本椎葉

顧問:菊地寛 永井浩

1)高校生の放送活動への支援と協力

①NHK杯全国高校放送コンテスト石狩大会の後援・審査員の紹介(5月)

②NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会の後援・審査員の紹介(6月)

③北海道高等学校文化連盟放送コンテスト石狩大会の後援・審査員の紹介(10月)

④北海道高等学校文化連盟放送コンテスト全道大会の後援・審査員の紹介(12月)

2)新人作家の養成・発掘のための支援と協力

①道新文化センター「シナリオ実践教室」を支部として担当(通年)

②日本脚本家連盟北海道支部主催の「北のシナリオ大賞」に協力

③北海道ラジオの会主催の「北のラジオドラマ大賞」に協力

3)北海道内放送関連の文化事業への協力と参加

4)北海道支部ホームページの充実

5)「北海道シナリオ撰集・メモリアル編」刊行

(文責・伊藤正浩)

5.中国支部 支部長:名切勝則 事務局長:野津聖治 監事:法安桂子

①NHK中四国ラジオドラマコンクール審査会への参加、大山口列車空襲を描いた舞台の企画・脚本・演出、香港・台湾向けの日本の家庭料理を紹介する番組など各メンバーはそれぞれに活動を活発に。

また中国地区の放送局・制作プロダクションに、中国支部があることを告知、新規会員の獲得をめざしました。

②支部全体としての活動は見送りましたが今年度の予算を繰越し、次年度に支部全体の活動を予定しています。

(文責・名切勝則)

Ⅶ. 運営

1. 理事会の現役員は次の通り(平成 30 年 4 月 1 日現在)

理事長 股野尚子(さらだたまこ)

常務理事(3 名) 高橋 秀樹、田中 格、藤森いずみ

理事(11 名) 芦田 多江子(東多江子)、石橋 里恵(石橋映里)、
香取 俊一(香取俊介)、小暮 泰寛(城啓介)、
小林 美和(里島美和)、東海林 桂、
中村 直子(羽田野直子)、吉村 智雄(吉村ゆう)

監事 上滝 徹也(外部:日本大学名誉教授)、松本 茂樹(協会)

2. 収支決算は提出別掲(決算報告書)の通り

3. 事務局職員 阿部佳奈子が協会事務を担当。

以上、当協会平成29年度 事業報告書であります

平成30年6月26日

一般社団法人 日本放送作家協会

理事長 股野 尚子 ⑩